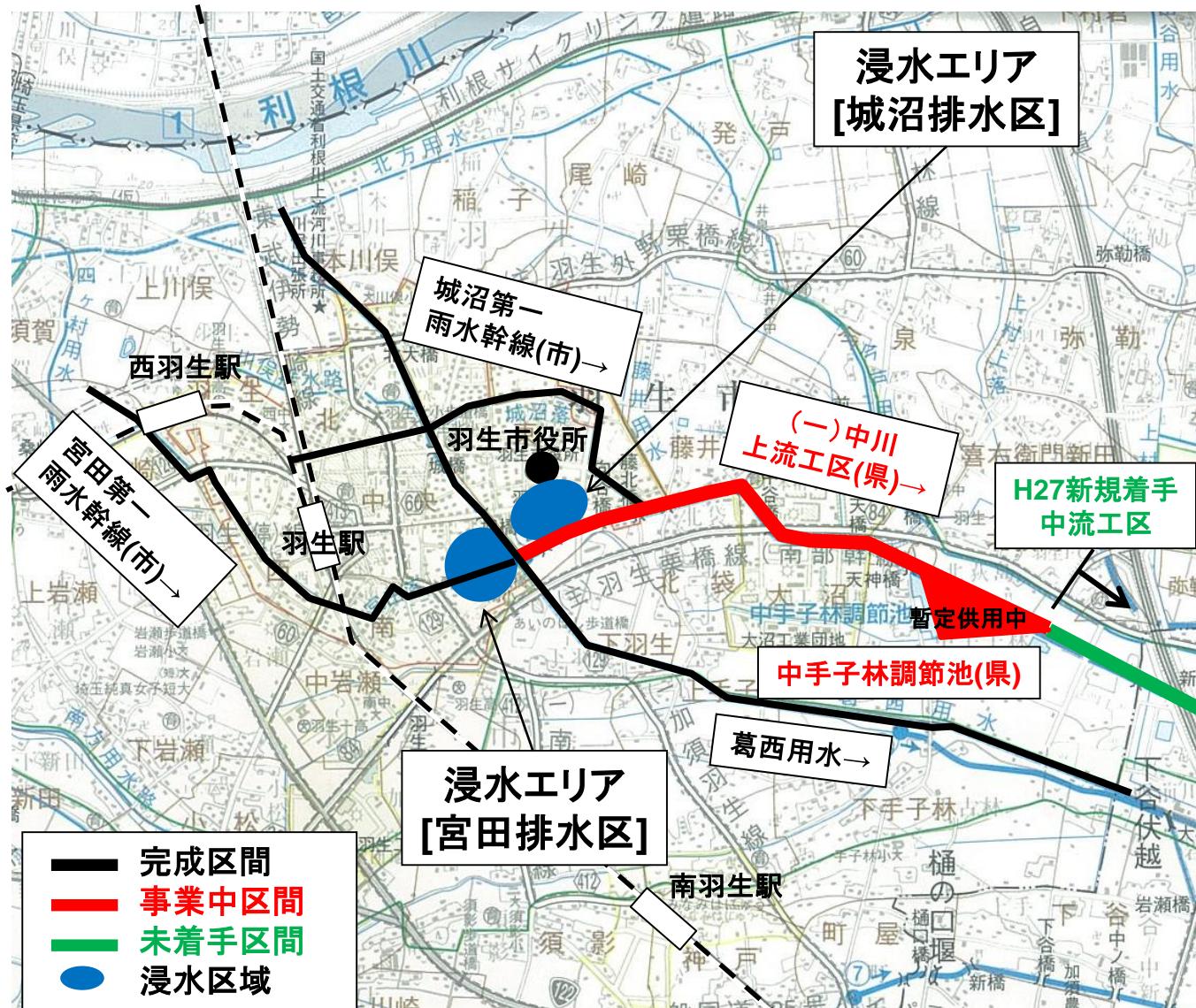


河川と下水道が連携して対策を行う取組（羽生市）

位置図

浸水被害の状況



平成23年台風6号
城沼地区

中川の状況



中川未整備区間
城沼雨水幹線合流部

(赤): 事業中、またはすぐに事業着手可能な施策
(緑): 検討のうえ事業化を目指す施策

連携施策

〔城沼排水区・宮田排水区〕

○現状・課題

- ・雨水排水の受け皿である中川は、整備途上である。
- ・城沼雨水幹線及び宮田排水区周辺では、雨水幹線の枝線やポンプ施設が整備されておらず浸水被害が発生している。
- ・既開発地における流域対策が行われていないため、河川の負担が過剰となっている。



●施策

- ・一級河川中川(上流・中流工区)の改修を推進(県)
- ・速やかに実施可能な浸水対策を推進(市)
 - 1) 計画的な道路側溝清掃
 - 2) 「土のうステーション」の整備
 - 3) 排水ポンプ車の配備
- ・既存排水路の改修、排水ポンプの増設、既存調整池改修を検討(市)
- ・既開発地における流域対策(調整池整備)の推進(市)
- ・農地の貯水機能の活用検討(市)

※中川・綾瀬川流域整備計画

流出抑制対策分担量

○埼玉県目標値: 5,500m³

⇒実施対策量: 5,889m³(107%)

○羽生市目標値: 24,500m³

⇒実施対策量: 0m³(0%)

※その他全域で内水ハザードマップを活用した訓練等を推進